

Granada ⑫マール マールは、混色による、円弧状コテ塗り仕上げ連波意匠。

●使用材料・使用器具

使用材料

キクスイ 15kg/缶
プライマースーパーE
グラナダ内装用 20kg/プラヘル
(2色組合せ)

使用器具

計量 秤
下塗り エアレススプレー等
基層塗り リシンガン又はコテ
模様塗り兼
模様付け 仕上げゴテ

●標準施工仕様

(23℃、50%RH)

工程	使用材料		調合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
						工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE		15kg 無希釈	0.1～0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダ内装用		20kg	0.8～1.0	1	－	6以上	リシンガン 口径：4～6mm 吹圧：0.5～0.6MPa コテ
	清水	吹付け塗り	1～2kg					
		コテ塗り	0～0.5kg					
模様塗り 兼 パターン 付け	グラナダ内装用 (2色組合せ)		20kg	1.6～2.0	1	－ 配り塗り 兼 模様付け		仕上げゴテ (L：210～240mm)
	清水		0～0.5kg					
	仕上げゴテなどを使用し、材料配り塗りと共に、2色 組合せてコテに乗せ、円弧状に意匠付けをする。							
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。					－	直後又は 乾燥後	

●標準施工要領

1. 下塗り

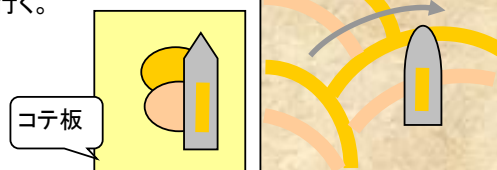
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。
コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①グラナダ内装用は、開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②グラナダ内装用に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤などを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付けるか、又はコテなどを使用し塗り付ける。

3. 模様塗り兼パターン付け

- ①出隅、入隅、開口部廻、大面積連続壁で意匠目地を必要とする場合は25mm幅の装飾養生をする。
特に妻壁は各階などで、また長スパン壁は適度なスパンで装飾養生を取るようになる。
- ②主材各色は定められた模様になるように指定された清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、水の計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ③模様塗り兼パターン付けは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を塗り付ける。
- ④まず、2色の材料をコテ板に乗せ、2色同時にコテで2~3回軽くこねる。
- ⑤パターン付けは、コテL:210~240mm程度の仕上げゴテや丸ゴテなどを使用して、2色の材料を同時にコテに乗せ、コテ跡を円弧状に付けて、ややランダムな連波様の混色の意匠付けをする。
- ⑥パターンの大きさ、コテ継ぎの間隔などにより仕上がり感が異なるため、見本板などであらかじめ設計
担当者に確認を行っておくようにする。
- ⑦グラナダ内装用は表面皮張りが早いいため、直射日光など避けて施工する。
- ⑧模様塗り・パターン付けは上部から下部に向け施工して行く。
- ⑨各コテ跡は、丁寧にコテ跡を付けていくようにする。
- ⑩パターンは、壁全体のバランスも考慮して整える。



4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。なお、水切部などにバリの出ている場合は、カッターナイフで取るようにする。
- ②足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。